

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 10 月 31日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|---|-----------|--|
| 事業所番号 | 340060182 | | |
| 法人名 | 有限会社トリオ | | |
| 事業所名 | グループホームきららの里 | | |
| 所在地 | 〒731-1526 広島県山県郡北広島町本地1931 (電話) 0826-72-7324 | | |
| 自己評価作成日 | 平成28年10月3日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3473500688-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成28年10月21日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|---|
| <p>1、日々の生活を心穏やかに過ごしていただくために、しあわせ、ほがらか、生き生きと・・・をモットーに、入居者の皆さんと職員が一体となって毎日を笑顔で過ごせるよう、住まいの環境や介護の質の向上を目指して努力しています。</p> <p>2、小規模、少人数制で一人ひとりの個性を大切に、ご家族と連携し、家族的な雰囲気の中で毎日を過ごしていただくよう支援しています。</p> <p>3、訪問された皆さんから「施設の中がとても明るくなごやかで、アットホームを感じる」と評価を頂いています。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|---|
| <p>この1年間の特徴的な取組みとして、災害対策に関する地域との協力体制の推進がある。事業所の代表者は地域の自治会長や区長の経験もあり、地域との緊密な連携が図られている。事業所の避難訓練に地域振興会の役員が参加し、また、地域振興会の避難訓練にも事業所の参加を要請されている。災害時における地域との協力体制についても、地域との緊急連絡網ができており、地域振興会の自衛消防隊として、地区自主防災会連絡協議会と「災害救護応援協定書」を取り交わす段階となっている。また、事業所の基本的な運営方針としては、同所のシンボルマークとして強調しているように、『「ハート」(誠心誠意)で関わる』ことである。従って、ユニホームは「普段着」であり、家族の様に関わる、即ち、利用者・家族・職員が一つの家族の様に、コミュニケーションを取りながら利用者の生活作りを行う。その底流には、職員相互の円滑な意思疎通こそが、利用者の「朗らかな生活作り」の起点である、という信念があり、現在の事業所の環境に対応したチームケアに向けて、マニュアル(手順書)を更新して、勉強会を展開中である。</p> |
|---|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 事業所の理念を基に、毎年、職員間で深く掘り下げ話し合い、理念に沿った目標を設定し、達成できるよう、月2回のミーティングで確認、共有し、努力しています。 | 職員の話し合いで作成した運営理念を事務所に掲示し、それを基に、職員が策定した毎年の事業所目標と共に、毎朝、唱和している。その目標は年度末に達成度を評価・反省し、次年度に繋げている。その結果、今年度は「報告・連絡・相談」等を継続課題としている。また、法人の介護重点目標と併せて、それを「和やかで穏やかな生活作り」に活かしている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 保育所の発表会など、地域の行事に参加し、子供110番の場所として提供し、小学校や保育園児に来ていただき交流を図っています。また、周辺の草刈や町内美化運動にも参加しています。地域の皆さんから季節の野菜を頂いています。 | 日頃から散歩・買い物をする中で、地域住民と挨拶を交わしたり、野菜を頂く等、地域との交流をしている。事業所は自治会に加入し、地域行事に積極的に関わり、清掃活動・子供110番への協力等、地域に溶け込む努力をしている。又、近隣保育園や小学校の行事に参加したり、保育園児の来訪に利用者も喜ばれ、相互交流・世代間交流も為されている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 運営推進委員は地域の民生委員、老人クラブ、地区役員などをメンバーとし、認知症支援に関する資料の配布、地域包括支援センター、認知症疾患医療センターの職員を招き勉強会を行っています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議では、地域の高齢者をお世話される役員の方々で構成し、事業所の状況、利用者の状況などを報告します。また推進委員の方たちが、参考となるテーマを選んで情報交換をします。提案、意見などを頂き業務に活かしています。 | 運営推進会議は、定期的開催され、行政や地域住民代表として民生委員・自治会長・老人クラブ会長等が参加している。事業所の現況報告や事業報告と共に、毎回テーマを決め、情報交換・意見交換を行い、サービスの質の向上に繋げる取組みが為されている。例えば、民生委員からの提案で、「お経」が夕方の日課となった例がある。 | 家族との交流の機会は多いが、会議には家族の参加がない状況なので、参加を呼び掛ける必要がある。議事録は閲覧可能となっているが、事業所に来所する機会が少ない家族には議事録を送付する等、情報の発信にも期待したい。 |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 町が開催する会議や研修会に積極的に参加し、事業所の現状を報告し、町の現状、方針などの情報交換を行っています。また、事業所で抱え込めないと判断した時は、地域包括センター、介護保険課と相談し解決しています。 | 運営推進会議には、地域包括支援センター職員も参加し、情報の共有化が図られている。また、定期的に行われる地域包括支援センター主催の地域ケア会議に職員が参加したり、地域の福祉関連事業所・施設や関係職種が参加して行われる町主催の「虐待防止地域ネットワーク代表者会議」に代表者が参加し、意見交換をしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>居室や玄関には施錠せず、自由に入り出ることができるように対応しています。特にホール外へ出入りの際は、転倒がないよう見守り、付き添っています。基本的には身体拘束をしない方針ですが、止むを得ない場合はご家族の方としっかり話し合い、ご家族の意向を考慮しながらケアを行っています。</p> | <p>内部研修を通して、職員は「身体拘束をしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ねている。例えば、昼間は居室や玄関を施錠せず、不穏になった利用者には職員が見守りをしつつ、その方の思いを把握し、行動を理解して対応をしている。また、「言葉による行動制限」についても、会議で職員が検討し、適切な対応に努めている。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>ご利用者の尊厳と主体性を尊重することを介護の重点目標に掲げ、職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、研修会、勉強会を開き、意識をもって虐待しないケアの実践に努めています。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>研修会、講習会に参加し、そこで得た情報を職員が共有するために勉強会を開き、必要時に応じて話し合いの場を設けています。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>利用に際しては、利用者、家族と面談し、グループホームを見学して頂き、契約内容、重要事項説明書等を理解、納得していただき、同意を得ています。退去時は行き先に応じて情報を取得し、説明を行い不安の解消に努めています。利用契約改定等の必要が生じた場合は、十分説明し納得いただいております。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>ご家族には施設の行事に参加していただき意見交換を行い、また、面会時にご利用者の状況報告、意見や協議等を行い運営に反映しています。「きららだより」を毎月発行しています。個々の生活の様子を写真と手紙により、近況としてお知らせしています。</p> | <p>利用者の意見、要望は、日々の職員との会話を通じて把握し、家族からは「こどもの日」や「敬老会」等の事業所行事に参加した際や面会時に聴取している。また、毎月「きららの里だより」にて、利用者の近況を報告すると共に、随時、家族と連絡を取り、情報交換をしている。職員は、申し送りや申し送りノートでそれらを共有している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 2週間ごとにミーティングを行い、管理者も参加し、職員の意見や提案を話し合い、問題解決に努めています。管理者、職員が一体となって運営しています。 | 月1回の併設通所介護との合同会議では、代表者が出席し、毎日の申し送りや、月2回の事業所の職員会議では、主に管理者が職員の意見を聞いている。意見が反映された例として、ケアに関しては、朝食後に臥床時間を設けたり、腰痛時にコルセットを着用した経緯がある。その他、事故や行事など、適宜、代表者と協議しながら、業務に取り組んでいる。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 代表者は職員との意思疎通に努めて、働きやすい職場作り、やりがいのある職場作りに努めています。時々、現場に入り職員の様子や利用者を観察しています。利用者とのレクリエーションにも参加し、コミュニケーションを図っています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 施設長、管理者が研修の内容を吟味し、各職員が研修に参加できるよう計画しています。また、施設内の勉強会を毎月1回実施しています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | 地域同業者と交流を深めるため、地域ケア会議、多職種連携研修会に出席し各事業所との意見交換をしています。また、虐待防止地域ネットワーク代表者会議にも参加しています。研修会、講習会の内容報告をし、勉強会を行っています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 個々の利用者を観察する中で、本人が困っていることや、不安に思っておられる内容をよく聴き、今必要な支援は何かを見極め、確認しながら対応しています。必要な時は、ご家族と相談しながら解決しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>家族が困っていること、不安に思っておられる内容をよく聴き、これまでのご苦勞を受け止め、今後の対応について、家族とコミュニケーションを図り、話し合っています。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>利用を開始するに当たり、ご本人の生活自立支援及び要介護状況、疾病の有無、希望、ご家族からの相談内容を見極め、併設しているデイサービス及び近隣の医療機関を含めた提案をしています。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>工作や手芸など自分で出来ることをしていただき、出来ない部分は職員が陰ながら支え、また職員も教えていただきながら、利用者に達成感を味わってもらい、共に喜べる環境づくりをしています。また、食材加工、おやつ作りなど、職員と一緒にしています。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>ご家族にも気軽に訪問していただく、ご利用の様子をこまめに報告し、電話で相談する等、共に支えあう雰囲気を作っています。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>ご本人の思い出を大切にするため、馴染みの場所にドライブに行ったり、友人や地域の方と交流が図れるよう支援しています。</p> | <p>「気軽に訪問できる事業所作り」を心掛けており、関係継続の支援をしている。利用者の近所の人の訪問や家族の協力で、美容院や墓参りに出掛けることもある。また、昔の生活を想起させる「民俗芸能保存伝承館」等にドライブに行ったり、利用者も馴染みの所で寛ぎ、事業所を利用してもそのような所に行ける安心感を持ってもらえる様、支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 認知の程度の個人差はありますが、自然とお互いが助け合ったり、思いやりやったりする場面が見られます。プライベートは除き、助け合いが行えるよう職員間で調整し、支援しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 他の施設へ移転された方には、訪問してお話したり、ご家族には様子を聞いたりしています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 会話の中で、ご本人が興味を持っている事柄、行動に合わせ、話題や作業の提供をしています。ご本人の希望を聞きながら対応しています。 | 職員は利用者の気持ちを大事にしながらゆっくり話す時間を作り、その方の行動を理解するよう努めている。それらの情報は「申し送りノート」に残し、職員間で共有している。利用者が昔作った短歌を立派な短冊に装飾して掲示したり、本人から要望は言わないが、職員の提案には賛同して、利用者の得意な焼きそば作りに取り組む例もある。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | ご本人の生活歴、生活環境の把握に努め、日々の記録や行動から、生活リズムを崩さないようにしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 日々、一人ひとりの係わりのなかで、心身状態、今何をしたいか、何ができるか、何を希望しているかを、声かけしながら見極め、ご本人の意思の把握に努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>2週間ごと、月曜日にミーティングを行い、利用者一人ひとりのケアのありかたについて検討、見直しを行い、必要あるときは、家族や関係者と相談し、介護計画を作成しています。</p> | <p>アセスメントは計画作成担当者・管理者で行い、計画原案は作成担当者が担っている。毎月2回の会議でカンファレンスを行い、本案を作成し、モニタリングは毎月の職員会議で行っている。計画の見直しは、基本的に半年毎に行っている。トイレトペーパーを持ち帰る利用者に対し、家族と相談の上、その行動を見守り、職員が都度それを元に戻すことで、行動が落ち着いた計画例もある。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>日々の様子観察に力を入れ、個別記録や気づきノート、送りノートに記入、活用して、全職員に周知、話し合い、ケアに活かして、介護計画に取り入れています。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>ご本人の希望にできるだけ沿うように、家族と相談しながら、柔軟な支援を心がけています。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>周辺の田植えや稲刈りの見学、野菜作りと収穫、ぶどうや柿、栗の秋の味覚、ベランダで池の鯉を見ながらのお茶会、ご本人の希望や意向を、必要に応じて相談しながら支援しています。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>利用されるまでのかかりつけ医との関係を大切に、できるだけご家族との受診を行い、利用者の状態把握をもらっています。必要な方には、往診をしていただくことも可能です。</p> | <p>希望があれば今まで受診していた医師をかかりつけ医とし、継続して受診してもらい、家族による通院が困難な場合は、事業所が通院介助を行っている。医療連携により、毎週木曜日に訪問看護師の来訪があり、利用者の健康状態を把握している。サービス提供時の急変等には、かかりつけ医や協力医療機関と連携を図りながら、適切な医療支援を行っている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p> | <p>毎日、バイタルチェック、健康観察を行い、異常の早期発見に努め、訪問看護師、協力医療機関とも、報告、連絡、相談をしながら支援しています。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時には細かい情報を提供し、ご家族と相談の上、早期退院ができるよう、医療機関と情報交換しながら対応をしています。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <p>グループホームでできること、できないことをご家族の理解を得て、ご家族の意向を聞きながら、主治医の指導を受け、職員間でチームケアを行っています。</p> | <p>利用開始時、「重度化した場合における対応に係る指針」にて、事業所としての基本的な方針を説明し、「同意書」にて確認している。看取りは行わないが、重度化した場合に備えて、介護老人福祉施設等の申し込みの検討を依頼したり、入院による十分な医療支援体制に取り組む方針である。また重度化した際には、関係者で話し合いを行い、できる範囲で適切な支援を行う考えである。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p> | <p>AEDを備え、全ての職員が応急手当の訓練を行っています。消防署の指導による応急手当の訓練も定期的に行っています。職員の緊急連絡網も備えています。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p> | <p>避難誘導や避難方法などの訓練を行い、職員全員が周知しています。また、地域には緊急連絡網ができており、協力体制もできています。また、スプリンクラーや火災通報装置も備えています。地域の方の参加を得て、消防訓練を行っています。</p> | <p>消防署の指導の下、年2回の避難訓練は夜間を想定し、利用者や時に地域振興会役員の参加を含め、実施すると共に、それ以外に独自の避難訓練も行っている。また、災害時における地域との協力体制についても、地域との緊急連絡網ができており、地域振興会の自衛消防隊として、地区自主防災会連絡協議会との「災害救護応援協定書」を作成中である。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | ご利用者に対する言葉使い、介助については職員間で注意しながら、日々気をつけるよう努めています。プライバシーを損ねないよう粘り強く話をし、納得してもらえよう努めています。 | 職員は利用者とはゆっくり話す時間を作り、その方の思いを把握し、行動を理解して、誠実な対応に努めている。例えば、孫を探して不穏になる方に対し、その方の尊厳を蔑ろにすることなく、家族との話し合いを取り持ったり、職員との信頼関係を前提に、本当の事を伝えて、寄り添いながら支援する。そうすることで、落ち着かれるようになった例もある。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | ご利用者とのふれあいの時間を、できるだけたくさん持ち、希望や行動を把握した上で、本人の思いを尊重し、納得し、安心して暮らせるよう支援しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 自室やホールは自由に出入りして頂き、昼寝、読書、TVを観るなど、自分のペースで過ごしていただきます。一人ひとりの安全で安心のある生活ができるよう、目配り気配りをしながら支援しています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 希望により、ホームでの出張理美容も行っています。身だしなみやおしゃれを自由にできるよう支援しています。行事の時、特別な時は一層気配りをしています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 調理の下準備、配膳、片付け、食器洗いなど、一人ひとりの力を活かせることを常に考えながら、職員と一緒に行っています。 | 食事の中で利用者の嗜好を把握して献立を立て、その準備についても、たまねぎの皮むき等「できる手伝いをして頂く」という立場で関わっている。楽しめる食事とするため、焼きそば作りや弁当等、工夫を凝らした行事食や外食グルメツアーも好評である。また体格に応じた2種類の高さのテーブルを用意したり、席の配置等、環境面にも配慮している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>栄養バランスの低下が見られる方は、栄養補助食品を摂取していただき、1日の食事、水分量を記録し、少ない方には摂取していただくようにしています。食事内容も体調に応じてメニューの変更、刻み食、ミキサー食の支援をしています。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>口腔機能向上推進事業の指定を受け、ご利用者と職員が口腔ケアと口腔体操の指導を受け、毎食後声かけをして、職員と一緒に清潔保持に努めています。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>利用者の状態に応じて、トイレへの声かけを行い、排泄の失敗をなくし、自立に向けた支援を行っています。排尿の見られない方には、トイレにて排泄を促すように努めています。</p> | <p>排泄記録表や表情・行動により、各人の排泄パターンを把握し、出来るだけトイレで排泄してもらう様に誘導している。その方の状態に合った適切なパンツ・パッドを使ったり、トイレでしっかり座って用を足せる様、便器の両側に手すりフレームを設置する等、自立支援に努めている。また、保温器のおしぼりで清拭し「スッキリ感」を大切にしている。</p> | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>一人ひとり、水分摂取の確保や介護体操、朝の牛乳、果物、ヨーグルトなどで、自然排便に心がけています。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>希望された時、その時の状況を確認し、入浴して頂いています。</p> | <p>2日置きで、午後の入浴を基本とするが、利用者の体調や入浴習慣に合わせ、中には毎日入浴する方もいる。疲れ易い利用者には体の負担を考慮して、複数介助で当たったり、シャワー浴や足浴で対応することもある。又、浴室には、普通の家庭にあるユニットバス・タイプの半埋め込み式浴槽が設置され、時には入浴剤を使って寛いでもらうこともある。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | <p>自室で休まれる方、職員が見えるところで休みたい方など、安心して過して頂くよう支援しています。定期巡室して、日々の天候や希望にあわせた室温、照明に調節しています。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | <p>目的や作用をしっかり把握しておき、職員への周知を徹底しています。使用方法や副作用など、医師の指示のもと十分理解して対応をしています。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | <p>笑顔でいられる時間を少しでも多く提供できるよう支援しています。1人ひとりに合った、ゲーム、リクレーションなど、楽しいと思える時間の支援をしています。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>希望を聞いて、花見ドライブ、紅葉ドライブなど季節に応じて外出し、田園での散歩も行っています。一人ひとりその日の体調を見て声かけをし、屋外に出ただけのよう心がけています。</p> | <p>普段から希望により、少人数で近所の散歩やパン屋での買い物等を楽しんでいる。又、季節行事として土師ダムでの花見、藤棚、豊平での紅葉狩り、「舞ロード」（道の駅）での外食等、普段は行けないような所へ外出し、「非日常」を楽しむこともある。そして、出掛けた事を忘れた方も、その時の記念写真を見ては思い出話に花が咲くこともある。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | <p>金銭の管理は職員が行っており、必要なものは職員が購入しています。体調が良ければ職員が同行し確認の上、購入しています。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | <p>我が家への不安、家族への寂しさなどを訴え、思いをくみ取り、電話して頂いています。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>ご利用者の馴染みの木造住宅で、畳の間に床の間があり落ち着いた造りになっています。壁面やホールに行事や日常生活ぶりの写真を貼り、季節ごとにご利用者と共に作成した飾りをしています。</p> | <p>ホールは木の温もりのある和の設えで統一し、太い梁、小上がりに床の間等を配置し、利用者が落ち着いて過ごせる様になっている。壁には利用者と共に季節感を出す飾りつけを行い、安らぎの空間となっている。又、ホールは、毎日掃除をし、清潔な居心地良い場所となっている。利用者は洗濯干しや洗濯畳みも手伝い、出来る範囲の役割を担っている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>テーブル椅子、畳の間、ソファなど思い思いの居場所を提供しています。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>ご利用者とご家族が相談されて、使い慣れたものを配置されています。ご家族の写真を貼り、ご自分で作られた作品を飾り、思い思いに工夫されています。</p> | <p>各居室には、ベッド、エアコン、収納庫、洗面化粧台が備え付けられている。利用者は使い慣れた物や家族の写真等、好みの物を持ち込み、居心地よく過ごせるような工夫が為されている。また、転倒防止のため、居室に手すりや畳を設置したり、畳で寝る習慣のある方のためにベッドに畳を敷くこともある。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>建物内部は全てバリアフリーで、廊下、トイレには手すりを設け、自立した生活が送れるよう工夫しています。必要な方は、居室に手すりを付けたら、畳を敷いています。</p> | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム きららの里

作成日 平成28年12月1日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|-------------------|---------------------|----------------------|------------|
| 1 | 3 | 運営推進会議に家族代表の出席がない | 次期29年2月開催より出席者を決める。 | 出席できる家族さんを探してお願いします。 | 1ヶ月 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。